

令和6年9月9日

練馬区長
前川 耀男 様

練馬区議会 公明党

幹事長 柳沢よしみ



令和7年度練馬区予算編成に対する要望書

世界情勢が益々混迷を深める中、国内ではデフレ脱却が加速し物価の変動を反映した実質賃金もプラスに転じてきています。しかしながら、日本各地では頻発する地震、地球温暖化の影響で激甚化する台風やゲリラ豪雨等により被害が相次いでおります。

一方で、公明党は、物価高で節約志向が強まる中「定額減税」を推進し、家計の下支えで消費を後押しした効果も表れはじめました。また、ガソリン価格や電気・ガス代等への負担軽減策の継続を政府に働きかけ実施されることとなりました。さらに来年度の概算要求等では、新たな経済対策や災害対策等を提案し、それらを実現していくことで今後も国民に安心を届けてまいります。

練馬区は、第3次みどりの風吹くまちビジョンの実現を目指し、福祉・保健・医療・環境・教育の充実をはじめとして、頻発する災害にも強いまちづくりを目指し、区民本位の諸施策を着実に推進されることを切望致します。

このたび、練馬区議会公明党は、区内48団体からの現状や課題、ご要望をお伺いし、「令和7年度練馬区予算編成に対する要望書」としてまとめさせていただきました。こうした諸団体の声を令和7年度の予算編成に充分反映されますよう、強く要望致します。

以上